

## レセプトチェッカーFUGA Ver. 1.2.0 S47(bui ld008) リリースノート

この文書は、レセプトチェッカーFUGA安定版Ver. 1.2.0 S47導入時の注意事項などについて記載しています。

レセプトチェッカーFUGAをご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。

また、これらの内容はユーザーのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください（最新情報は <http://receipt-checker.jp/downloadpage/> でご確認ください）。

### 1. 導入についての注意事項

#### 1-1. アップデート適用環境について

レセプトチェッカーFUGA 安定版S47インストーラを利用される場合は、インストーラをダウンロードするためのインターネット環境が必要です。

#### 1-2. インストール方法

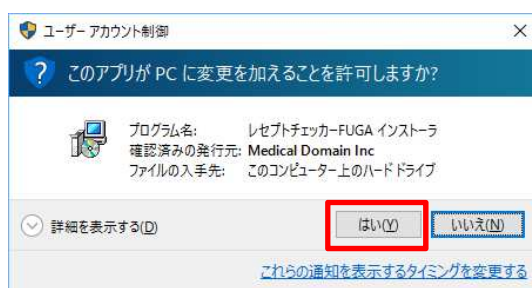
##### 【手動更新】

(1) 下記サイトより、S47 インストーラ Setup.exe をダウンロードします。

レセプトチェッカーFUGA 安定版のダウンロードサイト

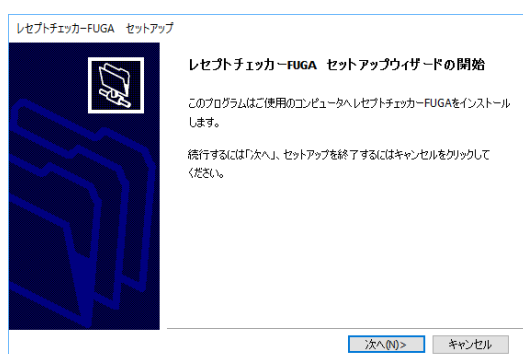
<http://receipt-checker.jp/downloadpage/>

(2) ダウンロードした Setup.exe をダブルクリックで起動します。



上図の「ユーザーアカウント制御」画面が出たら、「はい(Y)」をクリックして進めます。

「いいえ(N)」をクリックすると終了します。

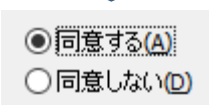
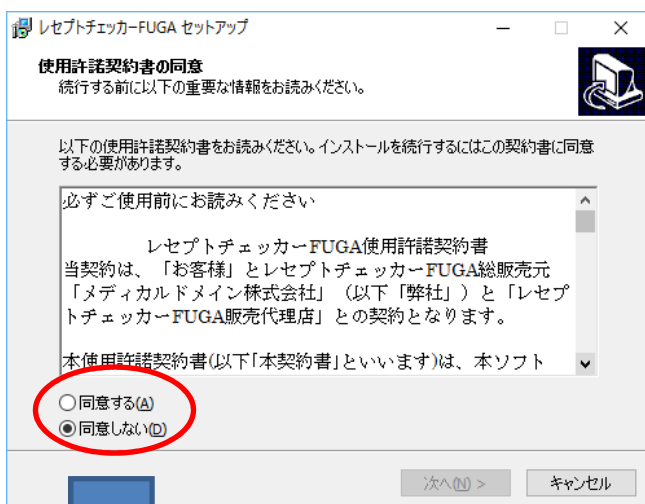


「レセプトチェッカーFUGA セットアップウィザードの開始」画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。

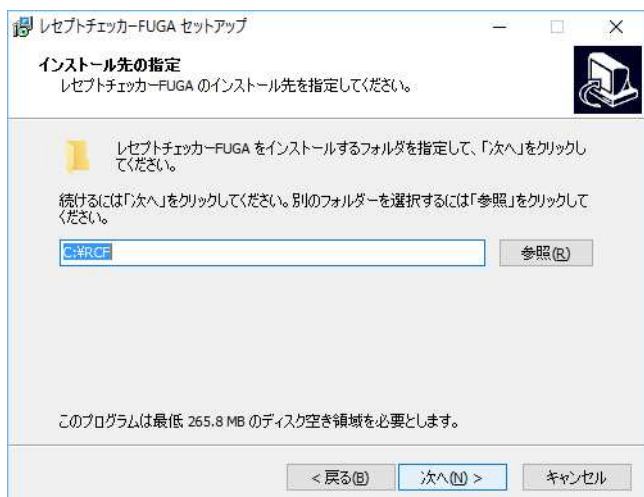


左図の確認メッセージが表示されますので、「OK」を選択します。

使用許諾契約書の同意についての確認画面が表示されます。スクロールすることで、最後までお読みいただけます。



「同意する」にチェックして「次へ」をクリックします。

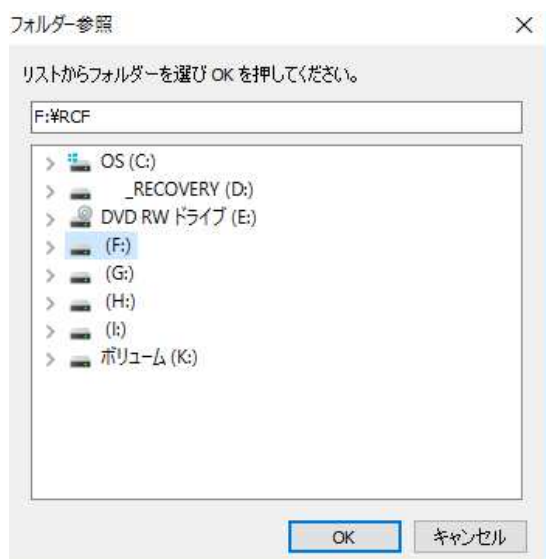


通常、Cドライブ(ローカルディスク(C))が指定されています。

確認後、「次へ」をクリックします。

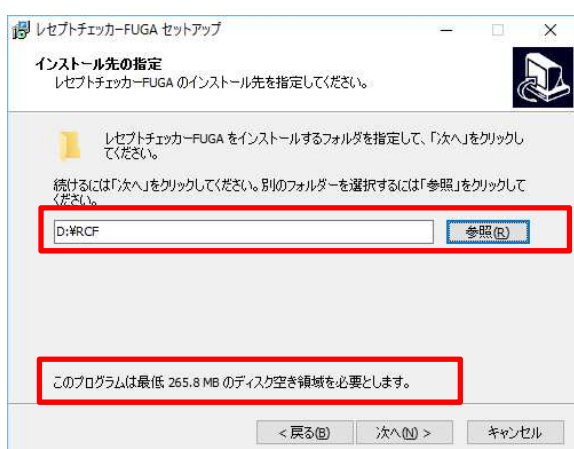
Cドライブ以外に既にインストールされている場合は、「参照」をクリックして変更します。

(次頁)



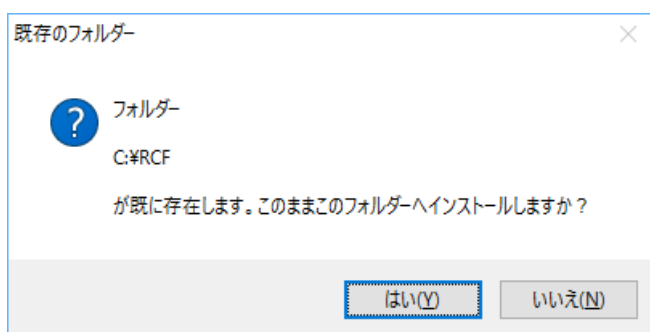
既にインストールされた先が、Cドライブでない場合は、「参照」をクリックします。

左図の画面が表示されるので、インストール先のフォルダを指定して「OK」をクリックします。



変更したインストール先と必要なディスク空き容量が表示されます。

「次へ」をクリックします



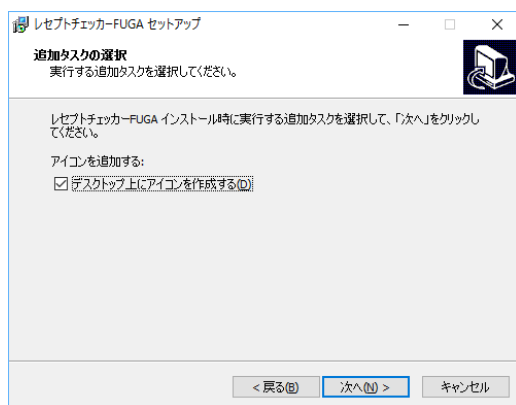
既にインストールされているので、確認のメッセージが表示されます。

「はい」をクリックします。

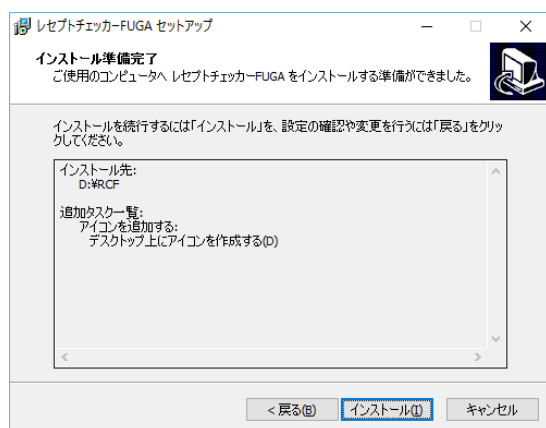
「はい」を選択しても既に登録された学習データや過去データは削除されません。

※上記メッセージが出ない場合は、既存インストール先に誤りがあるので、新規にインストールしたのと同じになるのでご注意ください。

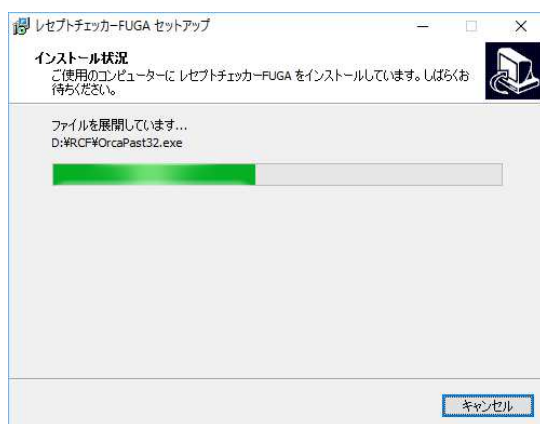
ただし、自動的にバックアップされていますので、「設定」→「データ保守（バックアップと復元）」で復元することは可能です。



「アイコンを追加する」の下の「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックします。



「インストール準備完了」画面が表示されるので「インストール(I)」をクリックするとインストールを開始します。



「インストール状況」が表示されます。



「Reset Checker-FUGA セットアップウイザードの完了」画面が表示されます。「完了」をクリックして終了です。

(3) システムバージョンは Ver. 1.2.0 (build:007) に変更されています。

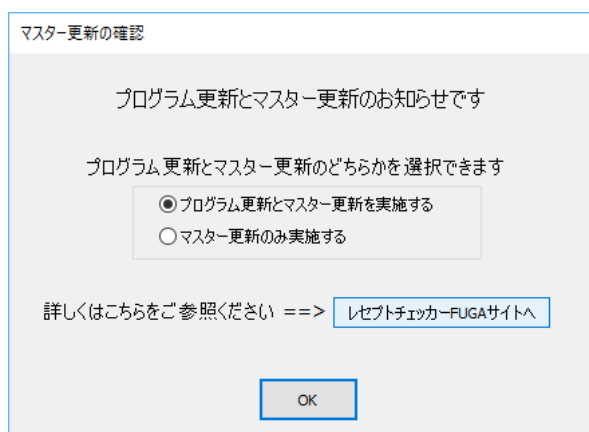


(4) システムバージョン以外のバージョン情報は、「システム Ver. 1.2.0 (build:008)」と表示されたボタンをクリックすると得ることができます。



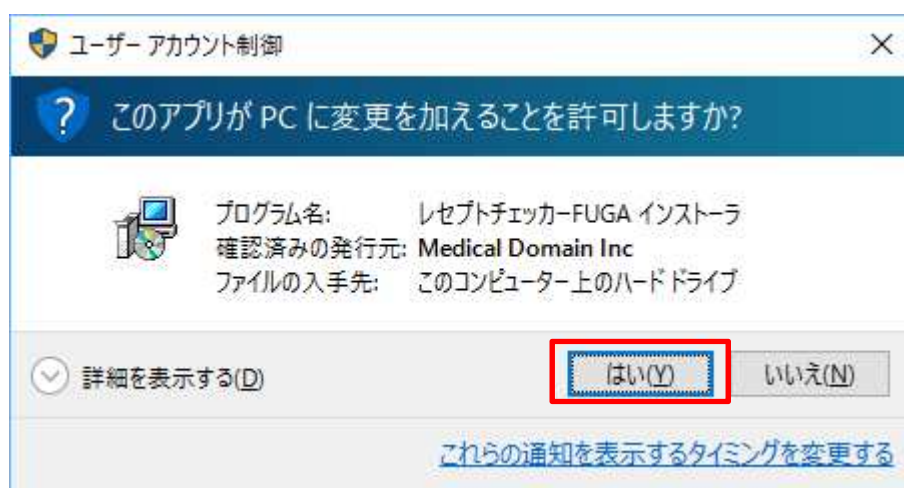
## 【自動更新】

「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」の場合は、プログラム更新とマスター更新（診療行為や医薬品追加）の両方の更新がある場合は以下のように表示されますので、選択することができます。



「システム Ver. 1. 2. 0(bui ld:005)」以外の場合は起動時に自動的にマスター更新のためのインストー用プログラム(Setup. exe)をダウンロードし、自動でインストール開始します。

以下の画面が表示されますが、「はい」をクリックして進めます。



上記画面が出ずに、最右下のタスクバーに隠れている場合があります。



その場合は、 をクリックして表示させます。

以降は、【手動更新】の(2)からと同じ展開となります。

## 2. 変更された主な内容

(1) 8月30日付で、新規医薬品が追加されています。

リリカ、アーチストのチェックデータを修正しました。

抗がん剤の見直しを行っています。

詳しくは、下記サイト「マスター更新内容」をご参照ください。

<http://receipt-checker.jp/mn-s47/>

(2) 「レセプト抽出」のテンプレート設定で「皮膚科特定疾患指導管理料1及び2を算定できない患者を抽出する」を追加しました。

「レセプト抽出」→「新規追加」→「単月・縦覧抽出条件」の「テンプレート設定」画面から、「基本診療料」を選択すると「皮膚科特定疾患指導管理料（1）を算定できない患者を抽出する」と「皮膚科特定疾患指導管理料（2）を算定できない患者を抽出する」が追加されています。

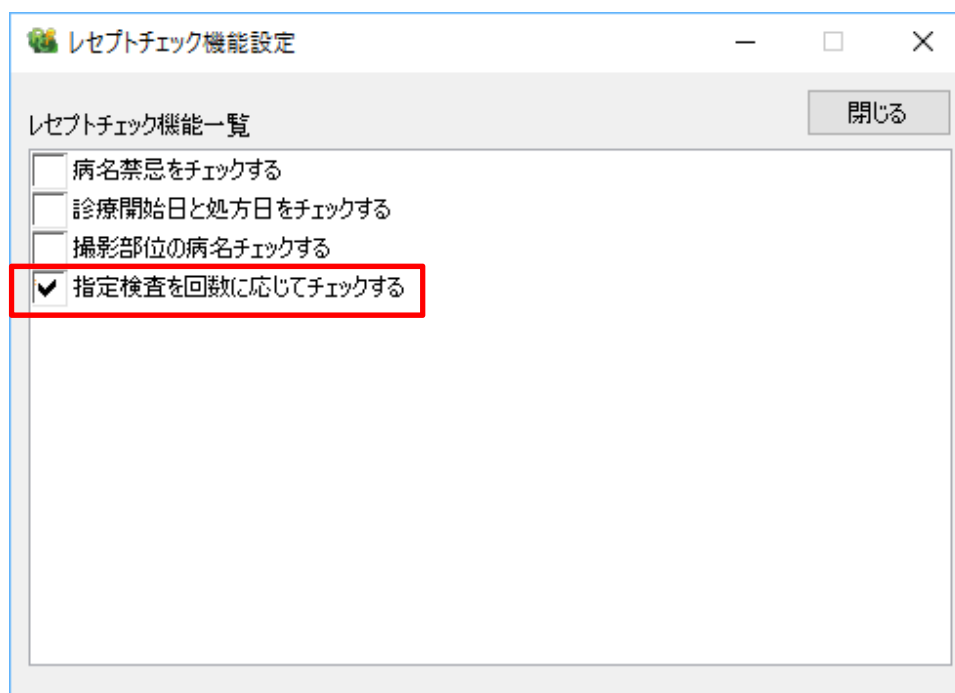
(3) 日医標準レセプトソフト(ORCA)からの取込み時に、Dataフォルダに作成されるファイル名に作成日時を追加しました。これにより、前回との取込み内容の比較ができるようになります。

(4) 検査で回数に応じて病名チェックができるようになりました。

S-Mやダーモスコピーのように回数に応じて病名の有無をチェックします。

### 【具体的な操作方法】

① 起動画面の「設定」→「初期設定」→「レセプトチェック設定」画面で「指定検査を回数に応じてチェックする」にチェックを入れ、閉じます。



- ② 「設定」→「適応症修正」画面で、S-Mまたはダーモスコピーを選択し、「適応症修正」画面を開きます。
- ③ 「回数に応じてチェック」にチェックを入れ、閉じます。

- ④ 通常のレセプトチェックを行います。(シンプルモードではありません)
- ⑤ 下記のように、不合格になります。また、該当行をクリックすると「検査で回数に応じてチェック」と表示されます。

傷病名	診療開始日	転帰	主	診療行為	薬価	HIT	回数	点数
1 白癬	H28.09.03			1 初診	282.0		1	282
				2 同日再診	72.0		1	72
				3 外来管理加算	52.0		1	52
				4 S-M	61.0	1	2	61
				5 微生物検査	150.0		1	150

診療行為履歴

閉じる

S-M

← 平成28年09月 →

診療日	内容	1日量
3日	2回	0.000

←



(5) 「RECEBASEチェッカー」と連携できるようになりました。

レセプトチェッカーFUGAの学習データや抽出条件を移行できます。

レセプトチェッカーFUGAでは、指定のフォルダにファイルを出力し、RECEBASEチェッカー側で出力されたファイルを取込むことで移行が完了します。

**【操作方法】**

- ① 起動画面→「設定」→「マスター管理」→「RECEBASEチェッカー連携」をクリックします。
- ② 「RECEBASEチェッカー出力」をクリックします。
- ③ 出力用フォルダを選択して、「OK」します。
- ④ 「出力が完了しました」と表示されましたら、レセプトチェッカーFUGA側の操作は完了です。
- ⑤ 「RECEBASEチェッカー」を起動して取込みます。詳しい方法はRECEBASEチェッカーのマニュアルやヘルプをご確認ください。

### 3. 不具合対応

- (1) 「レセプト抽出」で、「病名が存在するのに”特定疾患療養管理料”が未算定の場合抽出する」を抽出すると時間がかかり過ぎる不具合を改善しました。
- (2) 「適応症修正」画面で、「複数選択」にチェックを入れた場合、「審査対象設定」画面で診療行為をダブルクリックすると「複数選択ボタンをクリックしてください」と表示される不具合を修正しました。
- (3) 「詳細画面」で傷病名が黒以外で表示されている場合、傷病名をクリックすると原因を表示するようにしました。

現在、以下の理由で色付表示されます。

- ① 「レセプト抽出」で「ワープロ病名が存在する場合抽出する」の条件でワープロ病名→赤
  - ② 「レセプト抽出」で「廃止病名がある場合抽出する」の条件で廃止病名→青
  - ③ 「診療開始日と処方日をチェックする」にした場合の不合格対象病名→赤
  - ④ 同一病名がある場合→赤
- (4) ディスプレイのスケールリングを100%より大きくした場合、画面が切れてしまう現象を改善しました。
  - (5) 前回、Dataフォルダに作成されるファイル名に作成日時を追加しましたが、レセプトviewerをご利用のお客様ではDataフォルダ内のレセプト電算データが読み込めなくなったので、初期設定でレセプトviewer利用者の登録すれば今まで通り取り込めるようにしました。  
操作方法は、起動画面より「設定」→「初期設定」画面で「レセプトviewerを使用する」にチェック入れて閉じるだけです。